



## 低速電動ウォーカー（家庭用） DK-9423A

### 取扱説明書



**このたびは低速電動ウォーカー(家庭用)DK-9423Aをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。**

◎まず、本説明書を最後までお読みください。

内容を十分ご理解いただいた上で正しくご使用ください。ますようお願い申し上げます。

- ◎ 本書巻末に「保証書」がついていますので、配送業者の送り状伝票とともに大切に保管してください。
- ◎ 本機は家庭用※として軽頻度の運動向けに開発・設計しています。  
※設計上、トレーニングジム・介護・福祉・教育の現場、ホテル・マンション・オフィスなどの共用設備の使用は想定していません。保証の期間・内容に影響しますので予め用途をご確認くださいますようお願い申し上げます。
- ◎ 改良のため、デザイン・仕様を一部変更している場合があります。

※本書に記載されている数値は、実数と多少の差異が生じる場合があります。予めご了承ください。

## 安全上の注意

取扱説明書の「注意」及び「警告」の内容は、危険のレベルによって2段階に別れています。記載の内容をご理解いただき、取扱説明書に従ってご使用ください。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。



**警告** 誤った取扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容



**注意** 誤った取扱いをすると人が障害を負う可能性及び物的被害の発生が想定される内容



**警告** -----

- 1) 機器を組み立てて使用する前に、取扱説明書の内容をすべてお読みいただくことが非常に重要です。機器を正しく設置し、維持し、使用するだけで、安全にトレーニング効果が得られます。
- 2) 使用者が投薬を受けており、治療が心拍数、血圧、およびコレステロールレベルに影響を与える場合、健康や安全性に基づいて医師に相談してから運動に臨んでください。
- 3) 一般的なトレーニングの際、頭痛、胸の圧迫感、不整脈、息切れ、眩暈（めまい）、吐き気の傾向がある方は、事前に体調ならびに機器の状態を医者が点検し、トレーニングを続けるのに障害がないことを確認した場合のみご利用ください。
- 4) 無理をせず、軽いトレーニングから開始してください。急激な運動は体に負荷を与えますので、少しでも異常を感じたら運動を中止して医師にご相談ください。
- 5) お子様の本機で遊ばないようにしてください。また、使用中はお子様近づかないようにしてください。お年寄りの方が運動されるときには、必ず付添の人をつけてください。
- 6) お年寄り・体の不自由な方、病気をお持ちの方など（心臓病・高血圧・糖尿病・呼吸器疾患・妊娠中・ペースメーカー・人工心肺装着の方等々）がご使用の場合、かかりつけの医師にご相談ください。
- 7) 機器を平らな場所に置いて使用し、床やカーペットの表面の損傷を防ぐために保護マットを敷いてください。安全のために、訓練機器と障害物の距離は0.5メートル以上離してください。
- 8) 各部の機能が正しく作動しているかどうか、ネジ・ボルト等の緩みがないか、使用前に点検してください。
- 9) 本機を分解・改造しないでください。内部点検や修理をする際には当社までご相談ください。同時に組み立てやメンテナンスのプロセスでノイズが聞こえた場合、また欠陥部品を見つけた場合は当社までご連絡ください。
- 10) 乗降する場合には、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品及び使用者を押ししたり、引いたりしないでください。運動の妨げとなり且つ安全性を損ないケガをする場合があります。
- 11) 同時に2人以上で乗らないでください。人間以外の動物・物を載せないでください。



## 注意

### 使用上の注意事項

- 1) トレーニングの前後にストレッチ（準備体操）を行ってください。（トレーニングをするたびに、筋肉はほんの少し傷みます。そのままにしておくと筋肉が縮み、その状態で数年間スポーツを行うと、筋肉が堅い弦の様に簡単に切れやすくなります。ストレッチは、必ずトレーニング前後に行う習慣をつけましょう。
- 2) 食後のトレーニングは差し控えてください。（本来胃に流れるべき血液が流れにくくなり、消化に影響を与えます）食後 2 時間位あけてトレーニングをしてください。
- 3) 本機ご使用の時は運動靴を履き、駆動部に巻き込まれる恐れのない（紐等のない）服装でご使用ください。
- 4) 正しい使用方法以外でトレーニングはおやめください。
- 5) 本機は家庭用のトレーニング機器として開発しています。それ以外の用途で使用なさないでください。
- 6) 異物を製品内部に入れないでください。異物が入ったまま使用すると、故障の原因となります。
- 7) 体重 100Kg を超える方はご使用にならないでください。

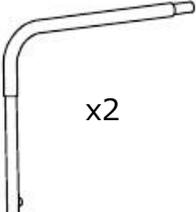
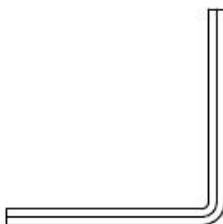
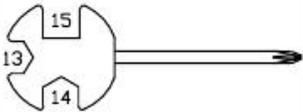
### 保管上の注意事項

- 1) 幼児が触らないよう安全に管理してください。
- 2) ご使用前にはハンドル・手すり・接合部分のガタや、緩み等がないよう確認してください。
- 3) 使用中の運動が十分確保できる水平な床面に設置してください。
- 4) 使用場所の周囲に物を置くと、思いがけないケガや事故につながりますので、整理整頓してからご使用ください。
- 5) 組立ての際に、床を傷つける場合があります。布やカーペットなどを敷くなど、養生で床を保護してください。
- 6) 本機ご使用にあたっては、床保護を目的にマットの使用をお薦めします。
- 7) 本機を廃棄する場合は、各自治体の推奨する方法に従って処理してください。
- 8) 次の場所に設置、保管しないでください。（サビの発生、負荷の調節不調、メーター等の故障 の原因となります）
  - ・直射日光、暖房設備、火気のために著しく温度が上昇する場所
  - ・屋外の設備や浴室付近等の湿気の多い場所
  - ・磁気や電氣的雑音の発生しやすいものの近く

### 仕様

品名	低速電動ウォーカー（家庭用）	連続使用時間	60 分
品番	DK-9423A	耐荷重	100kg
材質構造	スチールパイプ・ABC 樹脂・ウレタン等	速度	0.2～10.0
目標設定	時間/距離/カロリー	傾斜	3 段階（手動）
心拍測定	ハンドグリップ式	走行面	42x126 cm/厚 1.4 mm
メーター/表示	時間/速度/距離/カロリー/心拍/体脂肪	速度変更自動プログラム	9 パターン+体脂肪
使用用途	家庭用（簡易組立仕様）	簡易体脂肪測定	有り
製品重量	59kg	本体サイズ	75×161×127cm
梱包重量	69kg	梱包サイズ	78×170×36cm
電源	AC100V（電源コード 2.0m）	移動用キャスター	有り
消費電力	1000w/h	衝撃吸収クッション	有り
モーター	DC（ave1.25～max2.0hp）	静電気防止ベルト	有り
安全補助ベルト	有り（転倒防止用）	緊急停止装置	有り

## 主要なパーツ

			 x2
1#本体	4#緊急停止ボタン	6#支柱カバー (L/R)	9#手すり支柱 2
 x2	 x2	 x2	 x2
8#手すり支柱 1	12#手すり 1	13#手すり 2	14#フック
 x4		 x28	 x12
15#手すり用ノブボルト	16#安全補助ベルト	2#M8x15 ボルト	3#鋸歯状ワッシャ
 x2	 x4	 x16	 x16
5#タッピングねじ	7#タッピングねじ (小)	11#ワッシャ	10#スプリングワッシャ
			
サンプル工具	サンプル工具		

### ワンポイント

※主要なパーツのみ掲載しています。部品の全体は次の一覧表にてご確認ください。

## 部品の一覧表

### ワンポイント

※前述の主要なパーツに仮止めされている部品があります。それらの部品を含めて下記一覧に記載しています。  
Step1～順番に組立を進めながらご確認ください。

No,	名称	数量	No,	名称	数量
1	#本体	1	9	#手すり支柱 2	2
2	#M8x15 ボルト	28	10	#スプリングワッシャ	16
3	#鋸歯状ワッシャ	12	11	#ワッシャ	16
4	#緊急停止ボタン	1	12	#手すり 1	2
5	#タッピングねじ	2	13	#手すり 2	2
6	#支柱カバー (L/R)	2	14	#フック	2
7	#タッピングねじ (小)	4	15	#手すり用ノブボルト	4
8	#手すり支柱 1	2	16	#安全補助ベルト	1

## 組立手順

### ■組立を始める前のご注意

- ・開梱及び組立は、できるだけ 2 名以上で行ってください。
- ・広い場所を確保した上で作業してください。
- ・作業をする前に、部品と必要な道具が全部揃っているかを確認してください。
- ・本機を箱から出す場合、天地（上下）に注意して開梱し本体が床面と水平になる状態で組立を行ってください。
- ・組立時、ボルトは仮締めにして、全体が組み上がってから増し締めしてください。
- ・Step 1 から順番に組み立ててください。各パーツに、ボルト類が仮止めされている場合がある為です。尚、出荷時点で仮止めしたボルト類が欠落しているケースが散見されます。梱包の内側もご確認ください。ますようお願い致します。
- ・本体に仮止めしてあるネジ類を外す必要がある場合は、その部位の作業工程の直前に外してください。先に外してしまうと、どの部分のネジなのか判別がつきにくい場合がありますのでご注意ください。

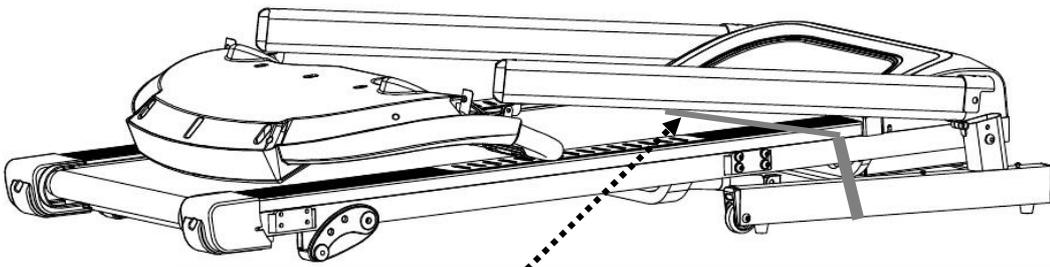
## Step 1 ▶ 箱から取り出す

### ワンポイント

設置場所に限りなく近い場所まで開梱せずに、梱包を保持した状態で移動させてください。  
開梱して、【1#本体】を取り出します。

### ワンポイント

この時、【1#本体】を定位置に置くまで、本体を縛っているバンド※を切らないでください。  
※搬送時の危険防止の為に結わえてあります。  
実際に運動で使用する場所（平らな場所）に図のように置いてください。



このバンドは設置場所が確定し、組立が完了してからはずしてください。  
(先にはずしてしまうと、土台部分が跳ね上がり大変危険です)

## Step 2 ▶ 支柱とパネルを立てる方法

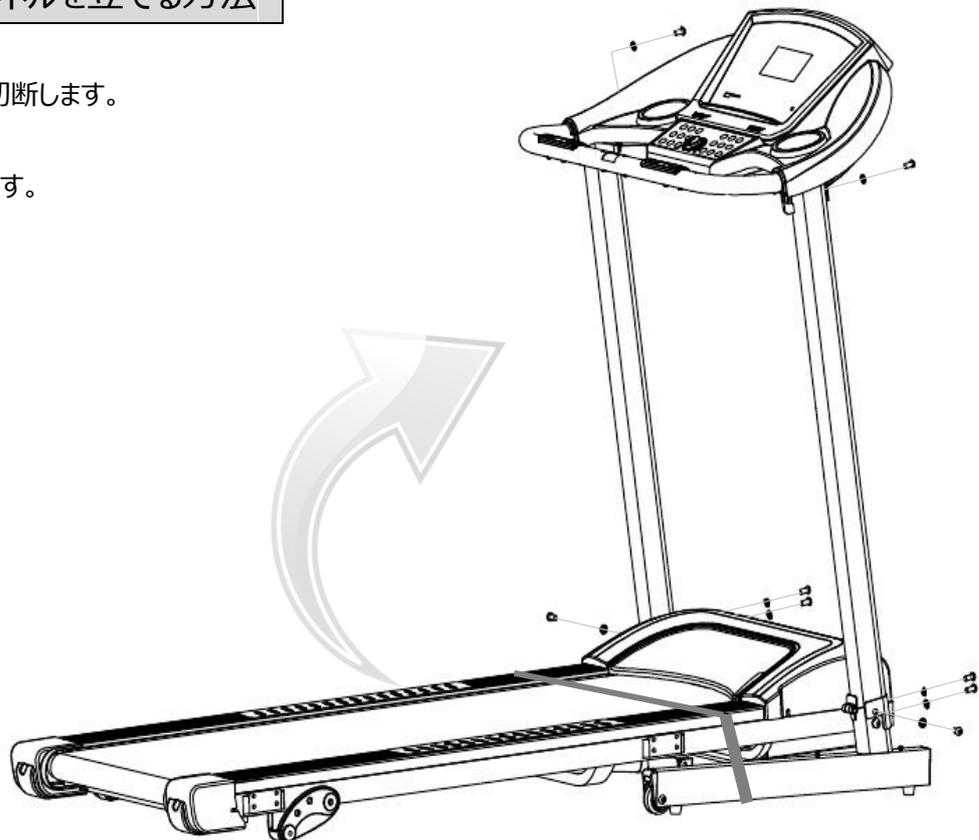
この時点ではじめてバンドを切断します。



左右の支柱とパネルを起します。

- ✓ 2# M8x15 ボルト×8
- ✓ 3# 鋸歯状ワッシャ×8

を使って固定してください。



### ワンポイント

全体を少しずつバランスよく仮止めしてから、最後に**増し締め**※してください。  
※最後に強い力で締め上げていただくことで、適正に固定されます。締めが不足していると、異音の原因になりますのでご注意ください。

### Step 3 ▶ 緊急停止ボタンを取り付ける方法～支柱にカバーを取り付ける方法

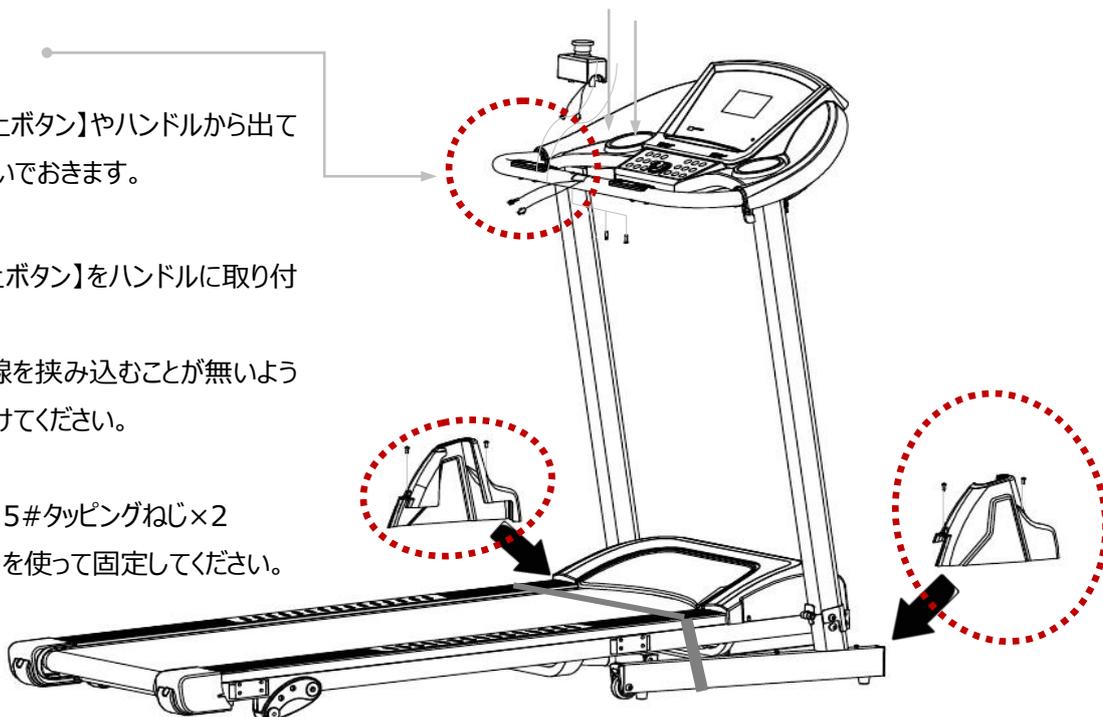
#### ワンポイント

あらかじめ、  
【4# 緊急停止ボタン】やハンドルから出ている配線を繋いでおきます。

【4# 緊急停止ボタン】をハンドルに取り付けます。

※この時、配線を挟み込むことが無いように十分気を付けてください。

- ✓ 5# タッピングねじ×2  
を使って固定してください。



#### ワンポイント

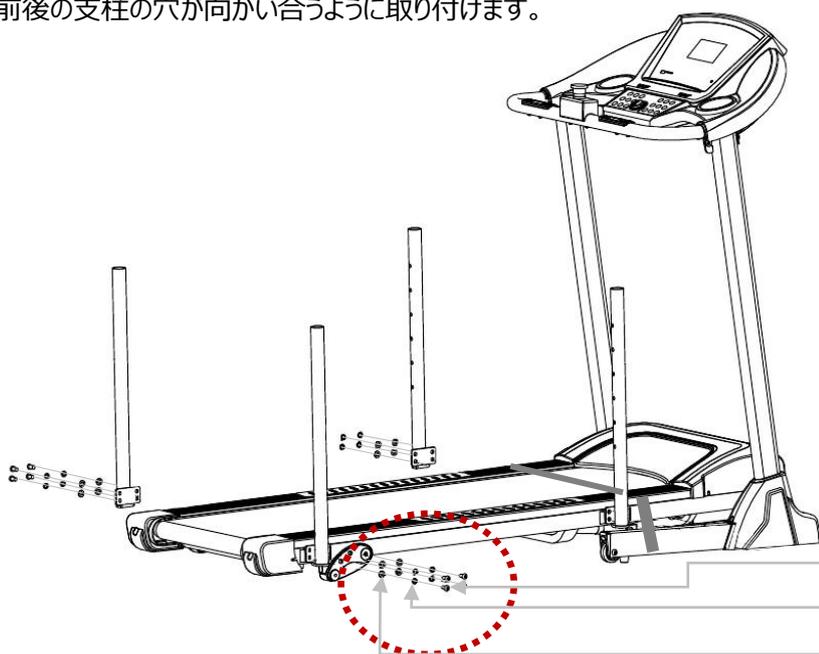
【6# 支柱カバー】を取り付けます。

- ✓ 7# タッピングねじ  
【6# 支柱カバー】を取り付けます。
- ✓ 7# タッピングねじ (小) ×4  
を使って固定してください。

### Step 4 ▶ 手すり支柱を本体に取り付ける方法

#### ワンポイント

【8# 手すり支柱 1】と【9# 手すり支柱 2】を比較してください。各パーツは穴の開いている向きが違います。前後の支柱の穴が向かい合うように取り付けます。



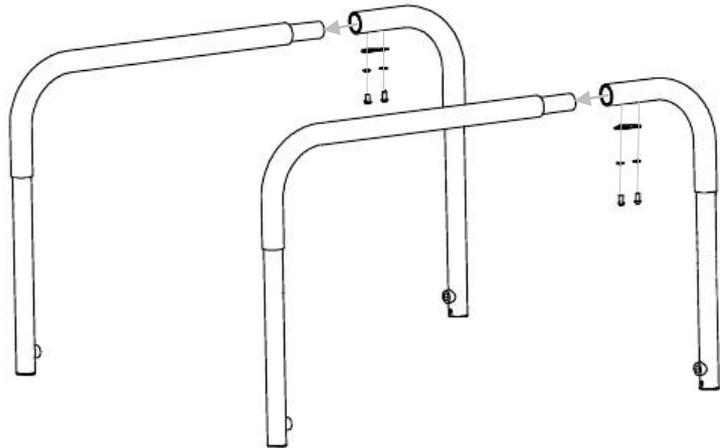
【8# 手すり支柱 1】  
【9# 手すり支柱 2】  
を

- ✓ 2# M8×15 ボルト×16
  - ✓ 10# スプリングワッシャ×16
  - ✓ 11# ワッシャ×16
- を使って固定してください。

## Step 5 ▶ 手すりを組立てて手すり支柱に取り付ける方法

【12#手すり1】と【13#手すり2】  
を継ぎます。

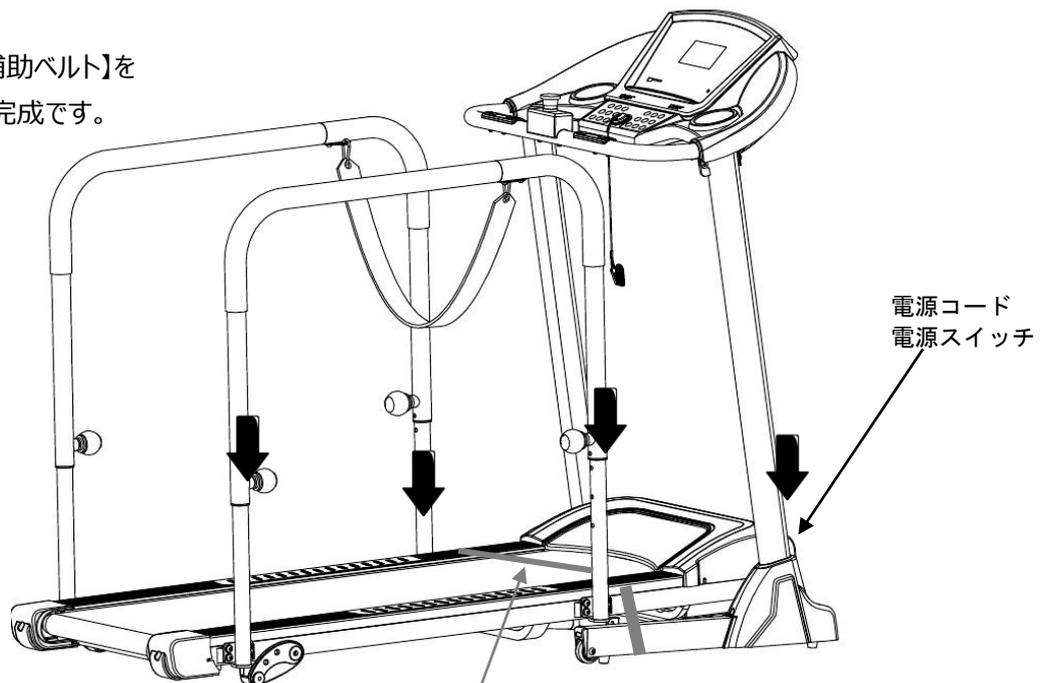
- ✓ 14#フック×2
- を通してから、
- ✓ 2#M8×15 ボルト×4
  - ✓ 3#鋸歯状ワッシャ×4
- を使って固定してください。



手すりを、手すり支柱に差し込みます。

【15#手すり用ノブボルト】を使用し、体格・姿勢に合わせて高さを調整してください。

最後に、【16#安全補助ベルト】を  
【14#フック】に掛けて完成です。



本体についているバンドをはずしてください。  
カッター等の刃物で切る場合には、走行ベルトに  
傷をつけないように、十分に注意してください。

**起動方法：**

電源コードを延長コード等、中継させるものを間に入れずに直接コンセントに差込んで下さい。

電源スイッチを入れて下さい。(次ページの「使用方法について」を参照し、正しくご使用下さい。)

**終了方法：**

電源を入れた状態で放置いたしますと、故障の原因になります。

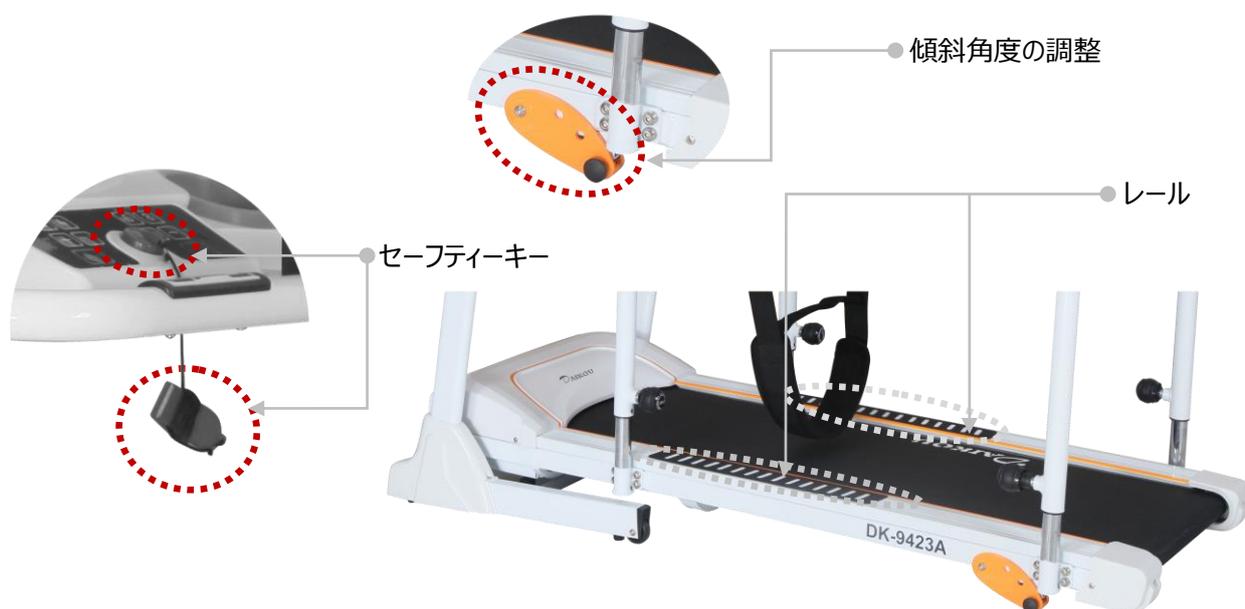
運動終了後は速やかにスイッチを切り、コンセントから電源コードを抜くようにして下さい。

# 使用方法について

## 起動方法～乗り方の注意点

**(※運動をする際には必ず運動靴を履いて行ってください。)**

- 周囲の安全を確認してください。任意で傾斜角度を決めます。  
(左右サイド後方のピンを指す位置で調整可能です)
- 電源コードをコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。(延長コードの使用は避けてください。)
- 電源スイッチ(電源コードの根元を辿るとマシン前方にあります)を入れ、約3秒程で起動することを確認してください。
- ベルト脇のレールに乗り、セーフティーキーのクリップ側を衣類に装着します。
- セーフティーキーのマグネット側が、パネル中央の所定の位置に吸着していることを確認してください。
- スタートボタンを押してマシンがゆっくりと動き出したことを確認してから、ベルト面に乗って運動をスタートさせてください。



## 操作ボタンの説明



**スタート** : 停止の状態ではスタートボタンを押すと、初速 0.2km/h で起動します。

**ストップ** : 作動している状態でストップボタンを押すと、ベルトがゆっくりと停止します。

**プログラム** : 待機の状態ではプログラムボタンを押すと、各種プログラム (P1-P9/U1-U3/HRC1-HRC3/FAT) を呼び出し選択することができます。

**+** 速度アップ **-** 速度ダウン : 速度の調整ボタンです。0.1km/h ピッチで変化させることができます。長押し（2 秒以上）すると、変化の度合いが高くなります。目標設定の際、目標数値を増減するのにもこのボタンです。

**モード** : 待機の状態でもードボタンを押すと、各目標設定（H1-H3）を選択することができます。

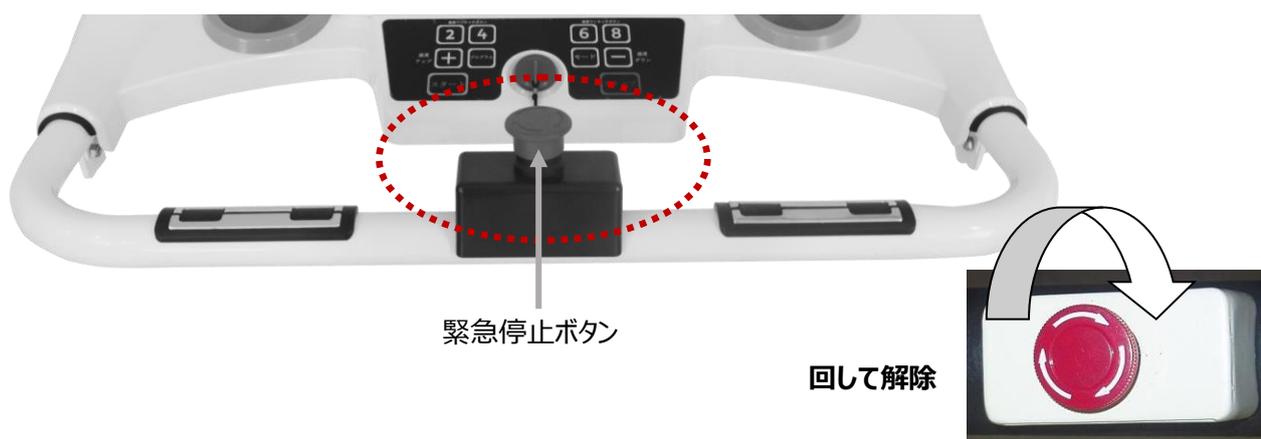
- ✓ H1 : 時間 【初期設定 30:00 分 / 設定範囲 5:00-99:00 分 / 1 分単位で設定可能】
- ✓ H2 : 距離 【初期設定 1.0km / 設定範囲 1.0-99.0km / 1.0km 単位で設定可能】
- ✓ H3 : カロリ 【初期設定 50 カロリ / 設定範囲 20-990 カロリ / 10 単位で設定可能】

**+** 速度アップ **-** 速度ダウンを使用して、目標値を設定し、スタートボタンを押すとカウントダウンします。

※目標設定は H1-H3 の 1 項目のみ選択できます。同時設定はできません。設定した項目はカウントダウンし、それ以外は、数値が増していきます。

## 緊急停止ボタンについて

運動中についていけない場合や足をとられた場合に前側ハンドル中央に付いている赤いボタンを押すとベルトが止まります。解除する場合は、矢印方向へ回してください。（下図）



## パネル表示の説明

- SPEED : 0.2-10.0 (KM/h) の範囲で速度を表示します。
- PROG : P1-9, U1-3, Hr1-3,FAT の中で選択中のプログラム番号を表示します。
- TIME : 0:00-99.59 (MIN) の範囲で作動時間を表示します。
- DIS : 0.0-99.9 (KM) の範囲で走行（歩行）距離を表示します。
- CAL : 0.0-999 (KCL) の範囲で消費カロリーを表示します。
- ♡ : ♡マークが点滅して、50-200 (BPM) の範囲で心拍数を表示します。（本機は精緻な医療機器ではありません。参考程度の値としてご利用ください。）
- SET : 時間/距離/カロリーの各目標設定が有効の場合に表示されます。

## 簡易心拍数測定について

ハンドルの脈拍センサーの部分を手でしっかりと5秒間以上握ると、脈拍数を表示します。あくまでも簡易的な表示機能ですので、正しい脈拍の測定には医療機器をご使用くださるようお願い申し上げます。



## 速度自動変化プログラムのメニュー

各プログラムの速度変化を次の図表に示します。

※各スピード毎の時間は任意で設定したトータル時間が10分割されます。

例：P1のトータル時間を30分に設定した場合、各速度の運動時間は平均割され3分毎に変化します。

	10段階速度変化 (単位 km/h)									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
P1	3	3	6	5	5	4	4	4	4	3
P2	3	3	4	4	5	5	5	6	6	4
P3	2	4	6	8	7	8	6	2	3	2
P4	3	3	5	6	7	6	5	4	3	3
P5	3	6	6	6	8	7	7	5	5	4
P6	2	6	5	4	8	7	5	3	3	2
P7	2	9	9	7	7	6	5	3	2	2
P8	2	4	4	4	5	6	8	8	6	2
P9	2	4	5	5	6	5	6	3	3	2

●待機状態で、**プログラム** ボタンを押して、P1～9 から任意で選択します。

↓

●同時に TIME が点滅しますので、**+** **-** で運動時間を設定します。

↓

●**スタート** ボタンで運動を開始してください。

## ユーザープログラム

前述のプログラム以外にお客様が任意で変化を設定できるプログラムを3種類セットすることができます。

- 待機状態で、**プログラム** ボタンを押して、U1,U2,U3 のいずれか任意で呼び出します。

↓

- 同時に TIME が点滅しますので、**+** **-** で運動時間を設定します。

↓

- 次に **モード** ボタンを押すことで、プログラムの内訳を設定することができます。
  - ・第1段階の速度を、**+** **-** で設定します。ここで再度 **モード** を押すと第1段階の速度が確定します。
  - ・前段の確定と同時に、第2段階の速度設定に移ります。**+** **-** で設定し、再度 **モード** で確定します。

この要領で続けて10段階まで設定し完結させます。設定したデータは、オリジナルのプログラムとして保存されます。

↓

- スタート** ボタンで運動を開始してください。

- 各カウントダウンが終わると同時にベルトが停止し待機の状態に戻ります。  
ENDと表示され、「ピッピッ」音（0.5秒程の音）が2秒間隔で鳴ります。
- 未設定項目は、プラス累計され最大値になるとリセットされます。

## 簡易体脂肪測定 (FAT)

簡易体脂肪 (FAT) を測定することができます。あくまで参考数値です。正確には医療機器をご利用ください。

- 待機状態で、**モード** ボタンを押して、FAT を呼び出します。

↓

- モード** ボタンを押し、

- ✓ F1：性別【01=男性 / 02=女性】
- ✓ F2：年齢【10~99】
- ✓ F3：身長【100~220】
- ✓ F4：体重【20~150】

を選択し、各々、**+** **-** ボタンで各項を設定します。

↓

- ハンドルの脈拍センサーを両手で握ると、簡易的に体脂肪 (FAT) が測定され、F5 の右に数値が表示されます。

F5 (FAT) 19 以下	痩せ気味
F5 (FAT) 20-25	正常
F5 (FAT) 25-29	太り気味
F5 (FAT) 30 以上	肥満

## 連続使用時間について

### <使用時間を守ってください！>

本製品を未長くご使用していただくために、下記に示す使用時間を必ず守ってください。

- 連続使用時間は**60分**までです。（例：マニュアル運転で59分59秒を超えるとマシンは止まります）
- 次に使用するときには、先に使った時間の**倍以上**のインターバルを取ってください。  
（例：30分間使用⇒60分間以上マシンを休ませる）

## 故障かなと思ったら

エラーコード	エラーコードの説明	対処方法
E01▶	接続の不具合によるエラー	各接続コネクタに不具合の可能性があります。 （接続不良・断線等々） 正面足元のモータカバー内や、その他配線箇所をご確認ください。その他、モーター・パネル・基盤の故障も考えられます。
E02▶	電圧関係のエラー	電圧が低いかモーター基盤故障の可能性があります。（室温が低い場合、電源を入れて数分後にスタートしてお試しください。）
E03▶	速度センサーなどのエラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●走行ベルトが数秒動いて止まってしまう場合：速度センサー等に埃が付着していることによるエラーの可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・埃を取り除いてください。</li> <li>・センサーをモーター基盤から取り外し、再度接続し直してください。</li> <li>・センサーの角度を調整してください。</li> <li>・トルクを微調整してください。</li> </ul> </li> <li>●走行ベルトが全く動かない場合：モーター基盤、モーターの故障が考えられます。</li> </ul>
E05▶	電気と運行システムなどのエラー	電気系統や運行システムなどのエラー または、モーター基盤、パネルなどの故障によるエラーが考えられます。
E06・E10▶	高速回転保護などによるエラー	モーター基盤、モーターの故障が考えられます。

症状	原因	対処方法
動かない… (パネルが表示しない)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグが差し込まれていない▶</li> <li>・電源スイッチをオンにしている▶</li> <li>・セーフティーキーが外れている▶ <ul style="list-style-type: none"> <li>・接続不具合エラー▶</li> </ul> </li> <li>・メインコードが断線している▶</li> </ul>	プラグをコンセントに差し込んでください。 電源スイッチをオンにしてください。 セーフティーキーを置いてください。 コネクタの接続を確認してください。 パーツ交換が必要です。
走行ベルトがあたっている…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行ベルトが調整できていない▶</li> </ul>	走行ベルト調整をしてください。
急に止まった…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティーキーが外れている▶</li> <li>・走行ベルトがたるんで空回りしている▶</li> <li>・ベルトの摩擦が多い▶</li> </ul>	セーフティーキーをパネルに置いてください。 走行ベルトを張りなおしてください。 シリコンスプレーを塗ってください。
画面から文字が消えた… 急に止まった…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静電気の可能性▶</li> </ul>	電源を一旦オフにして、静電気防止スプレー等を走行ベルトやパネル周りに使用してください。ハンドグリップの脈拍センサーや液晶に触れずに運転してお試しください。
走行中の空回り… または、一瞬止まったような 感覚がある…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行ベルトが弛んでいる▶</li> <li>・モーターベルトが弛んでいる▶</li> <li>・シリコンスプレーを塗りすぎた▶</li> <li>・走行ベルトの表面加工（適度な抵抗） が無くなってきた▶</li> </ul>	走行ベルトを調整してください。 モーターベルトを調整してください。 ペーパータオル等で拭いてください。 走行ベルトの交換をご検討ください。
モーターが熱くなる…	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間使用した▶</li> <li>・寒さでベルトが縮んだ▶</li> <li>・ベルトの摩擦が多い▶</li> </ul>	30分以上操作しないでください。 ベルトを緩めてください。 シリコンスプレーを噴霧してください。
本体下に粉が散見される	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行ベルトから散る▶</li> <li>・モーターベルトから散る▶</li> <li>・靴底のラバーから散る▶</li> </ul>	なじむまで暫く使用して様子を見てください。 なじむまで暫く使用して様子を見てください。 なじむまで暫く使用して様子を見てください。
異音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボルト類の緩みによるガツキ・キシミ音▶</li> <li>ローラーやベルトがあたって擦れる音▶</li> <li>ローラー・モーターベルトに埃が溜まって キュッキュッと鳴る音▶</li> </ul>	増し締めしてください。 走行ベルトを調整してください。 ローラー・モーターベルトに埃が溜まっている モーターカバーを開け、モーターベルト、前ローラーの溝部分を乾拭き～埃を除去してください。
壁コンセントを差すと火花が 散る	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイッチが入っていた▶</li> </ul>	スイッチを切って、コンセントを差しこんでからオンにしてください。



## パネルにO I Lマークが点滅した場合

走行ベルト実走 300 キロの表示です、シリコンスプレーの噴霧をお願いいたします「潤滑剤（シリコンスプレー）の補充」の手順に従ってください。

オイルランプマークを消すにはパネルの「ストップ」ボタンを長押ししてください。

# 製品のメンテナンスについて

## 外装全般

- 製品の美観を保つために、汚れや汗などは中性洗剤を薄めて含ませた布で拭き、その後乾いた布等でふき取ってください。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭かないでください。
- パネルの汚れや汗は、乾いた布で拭き取ってください。
- ボルト類の緩み等を常にチェックして正常を保ってください。

## 走行ベルトの調整について

- 走行ベルトは六角レンチを使って調整することができます。

### ワンポイント

後方にあるベルトの調整ボルトについて、その特性をご案内します。



- ★ 左の調整ボルト：時計回りに回すとベルトは右へ移動。

反時計回りに回すとベルトは左へ移動します。

- ★ 右の調整ボルト：時計回りに回すとベルトは左へ移動。

反時計回りに回すとベルトは右へ移動します。

### <重要：ベルト調整の注意点> -----

本機は走行ベルト（以下：ベルト）を前後のローラーで張りを持たせています。

前述の特性をご理解いただき、“はり” や “たるみ” の割合によって左右ボルトと回す方向を適宜選択して少しずつ(90°ずつ)調整してください。

- 現在足踏みプレート等に接触していない場合には、そのままご利用ください。

もし、違和感がある場合は、ベルトの調整を行ってください。

- 左右のバランスをはかりながら、少しずつ(90°ずつ)回してください。あくまでも少しずつ調整していくことがポイントです。

一カ所を回しすぎると、バランスが崩れ修正が困難になる場合があります。後方の左右エンドカバーを外して、ベルトの角が目視できる状態で作業することをお勧めします。

- 3~5km/h の速度で走行ベルトを作動させてください。続いて、六角レンチを使用して調整します。

※ベルトとプレートが接触してキズをつけないように注意してください。調整ボルトを回しすぎると急激にベルトが偏り破損する恐れがあります。

左右の足踏みプレートにベルトが触れずに、回転していれば調整は完了です。（擦れる異音でも判断できます）

！使用中、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう⇨緩み、弛みの場合-----

- 右調整ネジに六角レンチを差込み、右回しで 90 度回してください。

↓

- 左調整ネジに六角レンチを差込み、右回しで 90 度回してください。

↓

- ご自身でテスト走行をして、止まり/すべりがいいかを確認してください。

※まだ、足を踏み込むと止まってしまう／空滑りをしてしまう場合は、上記手順を繰り返し調節してください。

！ベルトが持ち上がらない⇨張りすぎ（縦に指 2 本程度入らない）の場合-----

- 右調整ネジに六角レンチを差込み、左回しで 90 度回してください。

↓

- 左調整ネジに六角レンチを差込み、左回しで 90 度回してください。

↓

- ベルト中ほどの左右どちらか片方の端をつまみ上げ、指 2 本程度持ち上がる程度の張りかどうか確認してください。

※まだ、ベルトが持ち上がらない・走行ベルトの張りすぎ（縦に指 2 本程度入らない）場合は、上記手順を繰り返し調節してください。

！ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合-----

- ベルトを回し、速度を 3~5km/h まで上げてください。

↓

- 右調整ネジに六角レンチを差込み、ベルトの寄りに応じて右回しに回してください。

※調整ネジを回しすぎるとベルトが急激に反対方向に寄ってしまいます。調整ネジは少しずつ回してください。

↓

- ベルトが徐々に左に寄ってきていることを確認してください。

※まだ、ベルトが右側の足踏みプレートにぶつかっている場合は、上記手順を繰り返し調節してください。

！ベルトが左側の足踏みプレートにぶつかっている場合-----

- ベルトを回し、速度を 3~5km/h まで上げてください。

↓

- 左調整ネジに六角レンチを差込み、ベルトの寄りに応じて右回しに回してください。

※調整ネジを回しすぎますとベルトが急激に反対方向によりますので、調整ネジは少しずつ回してください。

↓

- ベルトが徐々に右に寄ってきていることを確認してください。

※まだ、ベルトが左側の足踏みプレートにぶつかっている場合は、上記手順を繰り返し調節してください。

## 潤滑剤（シリコンスプレー）によるメンテナンス

～シリコンスプレーをお近くのホームセンター等で予めご購入ください。

### ■潤滑剤（シリコンスプレー）の噴霧について：

本製品の走行板（走行ベルト下の板）は工場出荷時に潤滑剤が塗布され適度な摩擦を保っています。

ご購入後の時間経過や使用頻度に伴いベルトの裏側やボード上に埃が溜まる等の原因で走行板（走行ベルト下の板）の摩擦が増大すると、ベルトの消耗が激しくなります。更にモーターやモーター基盤の寿命が短くなるなど、本来の性能を維持できなくなります。以上の理由により、定期的な清掃と潤滑剤の噴霧は、お客様ご自身に実施していただく重要なメンテナンスです。

## ■ 潤滑剤使用の目安

<ご購入後、初回噴霧の目安>

ご使用時間約 100 時間もしくは、ご購入後約 3ヶ月の経過に伴い工場出荷時の潤滑剤の効果が徐々に無くなってきます。市販のシリコンスプレーをホームセンター等でご購入いただき噴霧してください。

<二回目以降の噴霧の目安>

日常的に使用している場合は、月 1~2 回は噴霧してください。

2 週間以上使用しない場合も必ず噴霧してください。その際、走行面等のホコリを取り除いてから実施してください。

## ■ 潤滑剤の使用法

ベルトの中ほどの左右どちらか片側の端をつまみ上げボード全体に噴霧してください。

注意! : 潤滑剤を多量に噴霧するとベルトの作動にかえて悪影響 (ベルトが滑る) を与えます。

注意! : CRC556 等機械油を潤滑油代わりに使用しないでください。更に悪化します。

使用頻度が多い場合には実施回数を増やしてください。

## ■ シリコンスプレーの噴霧の方法

シリコンスプレーを噴霧するときは、走行ベルトを停止させた状態で行ってください。

- 走行ベルトを持ち上げます。

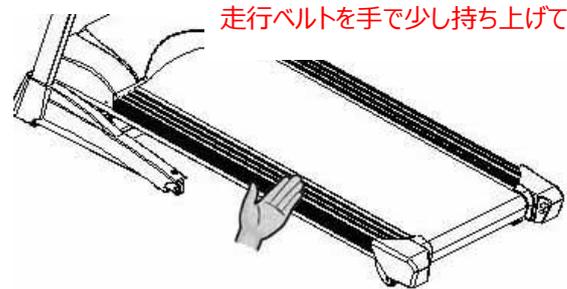
↓

- 持ち上げた状態で、スプレーを走行板に噴霧します。

↓

- 反対側からも同じように行ってください。

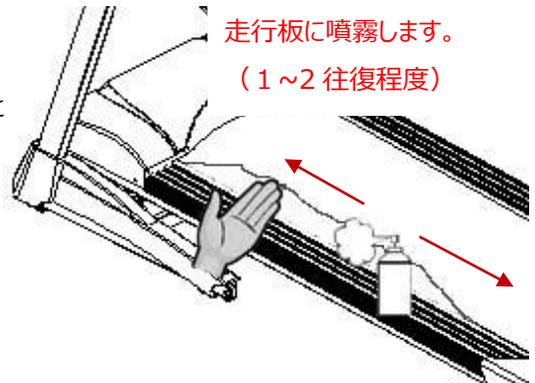
\* シリコンスプレーに付属している細いノズルをつけて噴霧するとより効果的です。



矢印のようにスプレーを往復させて

走行板に噴霧します。

(1~2 往復程度)



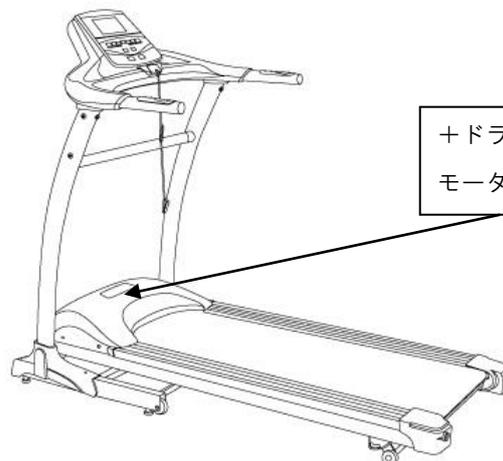
## ■ シリコンスプレーを噴霧するときの注意点

- ・シリコンスプレーのつけすぎには注意してください。  
(つけすぎの場合、ベルトが空回りしてしまいます。)
- ・前後のローラーにかからないようにしてください。
- ・走行ベルト表面には絶対にシリコンスプレーをかけないでください。
- ・シリコンスプレーを噴霧するときには、本体、溝等に溜まっているホコリを取り除いてから実施してください。

## ● モーターカバー内の清掃のお願い

モーターカバー内にはホコリ等がたまりやすく、そのまま放置し続けると、故障の原因になります。

年に 1 回はモーターカバーをあけてホコリ等を取り除くようにしてください。電源コードをプラグから抜いた状態で行ってください。



## 保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品名	低速電動ウォーカー（家庭用） DK-9423A
保証期間	ご購入日より1年間
ご購入日	年 月 日
お名前	
ご住所	
T E L	- -

- (1) 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料保証いたします。
- (2) 保証期間内に故障した場合は、本書（もしくは当社から発送した年月日を示す証票）をご提示ください。
- (3) 保証期間内でも次の場合には保証は受けられません。
  - お買上げ後の移動、落下、転倒等の故障及び損傷
  - 本来の使用目的以外による故障及び損傷
  - 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変・公害・塩害等による故障及び損傷
  - 保管上の不備による故障及び損傷
  - 不当な修理、改造による故障及び損傷
  - 取付場所の床面の損傷
  - 本保証書の添付のないもの
- (4) 使用に伴う消耗品（走行ベルト・ロープ・ペダルバンドなど）は、無償修理交換の対象になりません。
- (5) 一般家庭以外の使用、ペット、家畜等に使用された場合は、無償修理交換の対象になりません。
- (6) 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- (7) 保証期間が過ぎた後の故障については有償にて修理交換します。
- (8) 本保証書は日本国内のみ有効です。
- (9) 修理品についての運賃、諸費用は原則としてお客様負担をお願いします。
- (10) 本保証書は、お買上げ年月日、販売店名、販売店印が記載されていないと無効です。  
ただし、商品をお届けした際の配送伝票控や購入日が証明できるもの等がある場合はその限りではありません。
- (11) 出張修理に関しては、保証期間内でも有償になる場合があります。

**フリーダイヤル：0120-25-1622**

※携帯電話、PHS、IP電話からはご利用になれません。

開発販売保守 **大広株式会社**

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 3-41-4 2F

TEL : 03-5652-5056 / FAX : 03-5652-5078

受付時間（平日 AM10:00~12:00PM1:00~05:00）土・日・祝日休